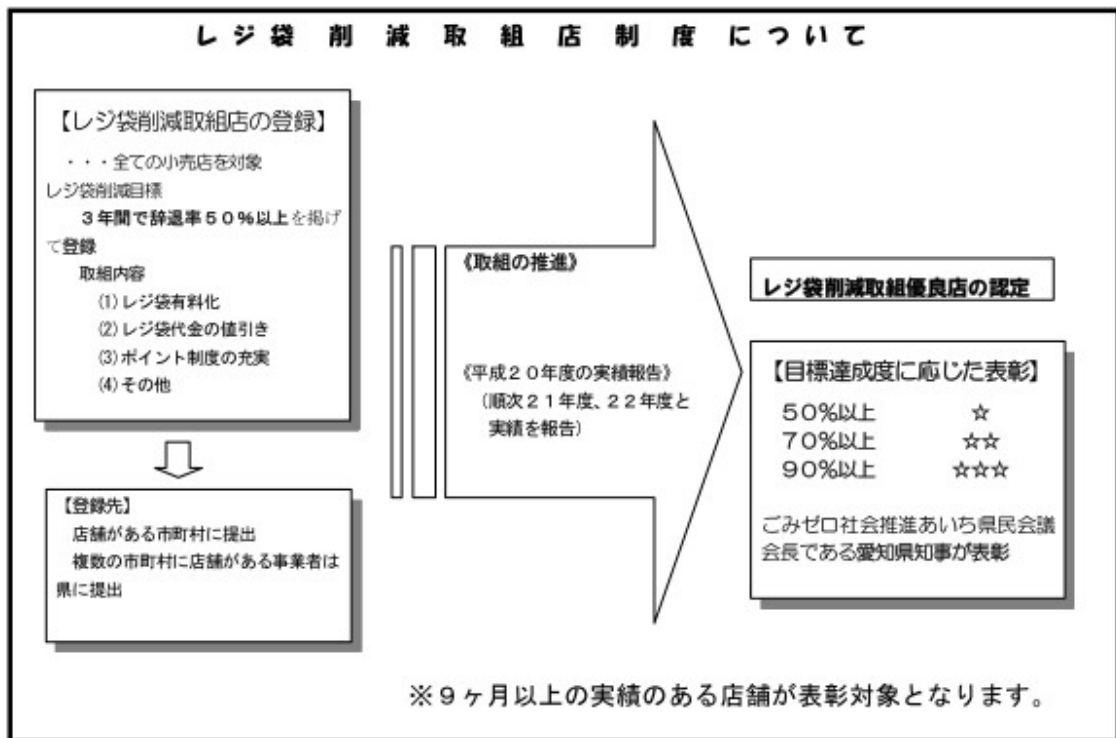


1. レジ袋削減の取組経緯とスケジュール

住民、事業者、行政が相互に連携しながら、一体となつてごみゼロ社会の形成を推進することにより、公衆衛生、環境の保全、資源の有効利用の促進を図ることを目的に、「ごみゼロ社会推進あいち県民会議」が平成5年に設立された。この組織は、事業者団体、消費者団体、女性団体、県内市町村等 117 団体(平成 22 年 10 月現在)で構成されており、ごみゼロ社会の形成推進に関する調査研究や普及啓発活動を行っている。平成 20 年2月には、「県民脱レジ袋宣言」を発表し、県下の脱レジ袋の取組を促進している。

2. 取組内容

ごみゼロ社会推進あいち県民会議では、レジ袋辞退率 50%以上とすることを目標にした県内の小売店を「レジ袋削減取組店」として登録し、目標を達成した小売店を表彰する制度を創設し、全県での取組に向け推進している。レジ袋削減取組店の数としては、平成 22 年 10 月1日現在で 50 市町の 342 店舗となっている。



また、環境への負荷の少ない、資源循環型社会への理解を深めていただくため、毎年度、「ごみゼロ社会推進あいち県民大会」を開催している。この県民大会においては、「レジ袋削減取組優良店」を表彰しており、平成 22 年度は、レジ袋削減取組に積極的に取り組み特に顕著な実績を収めている小売店 95 店舗を表彰した。

レジ袋の有料化については、県下の 57 市町村中 47 市町で実施済みであり、平成 23 年4月から新たに 1 市が実施を予定している。

県内市町村におけるレジ袋有料化の動向

- ・平成 20 年2月末までに有料化を実施
名古屋市緑区 (H19.10.01)

- ・平成 20 年 10 月末までに有料化を実施 16 市町
 名古屋市東部7区 (H20.10.4)、瀬戸市 (H20.03.25)
 豊田市、豊明市 (H20.04.01)、安城市 (H20.06.25)
 犬山市、江南市、小牧市、大口町、扶桑町、(H20.09.01)
 一宮市、東海市、大府市、知多市、岩倉市、(H20.10.01)
 豊山町 (H20.10.21)

・平成 21 年3月までに有料化を実施 12 市町

常滑市(H21.02.01)、刈谷市、西尾市、知立市、一色町、吉良町、幡豆町(H21.02.02)、
日進市(H21.02.03)、岡崎市、武豊町(H21.03.01)、半田市、みよし市(H21.03.02)

・平成 22 年3月までに有料化を実施 19 市町

春日井市、豊川市、蒲郡市、稲沢市、新城市、尾張旭市、田原市、清須市、北名古屋市、東浦
町、幸田町(H21.04.01)、阿久比町(H21.05.01)、名古屋市西部8区(H21.04.04)、長久手
町(H21.07.01)、高浜市(H21.08.01)、愛西市、蟹江町(H21.10.01)、
碧南市、美浜町(H22.02.01)、東郷町(H22.03.01)

・平成 23 年1月以降有料化を実施 1市

弥富市(H23.04.01)

・未実施 9市町村

豊橋市、津島市、あま市、大治町、飛鳥村、南知多町、設楽町、東栄町、豊根村